

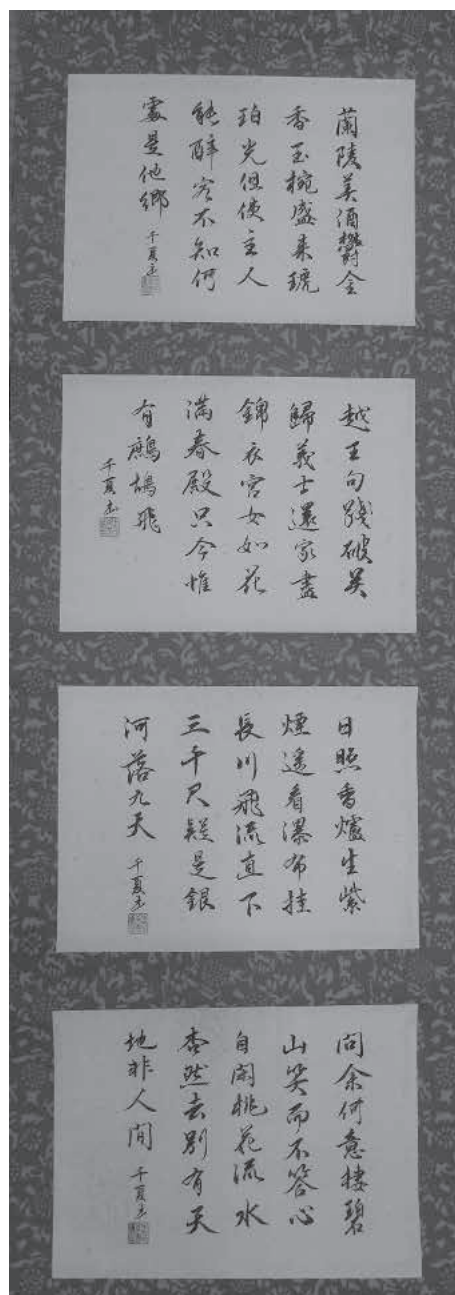
中央大学書道會

こんにちは、中央大学書道會です。実りの秋となりました。

皆様いかがお過ごしでしょうか。

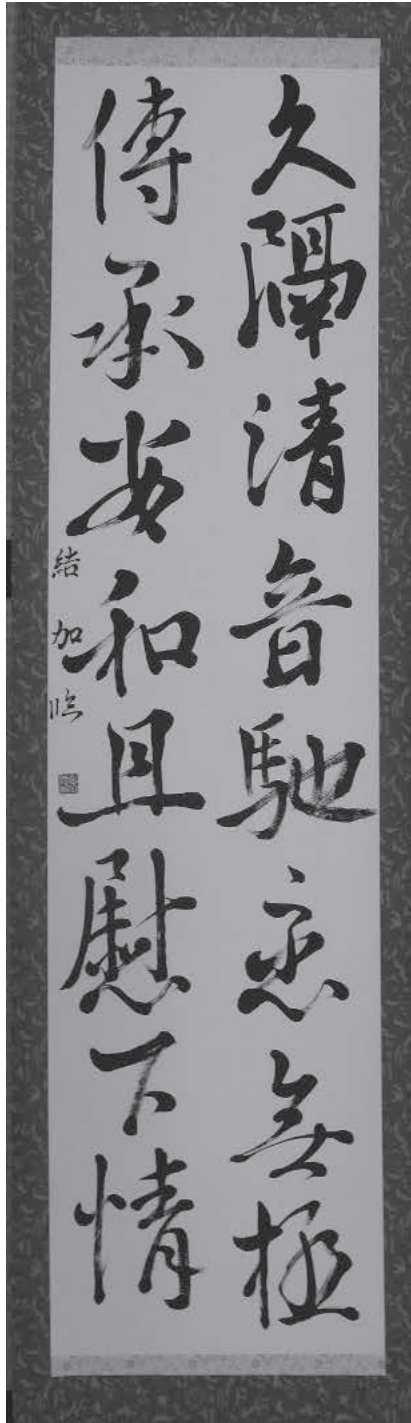
私たちは8月26日から28日にかけて、パルテノン多摩(多摩市)で校外展「せせらぎ書展」を開催し、多くの方に足を運んでいただきました。

今回は、出品された作品の中から3点を紹介します。ぜひじっくりご覧ください。



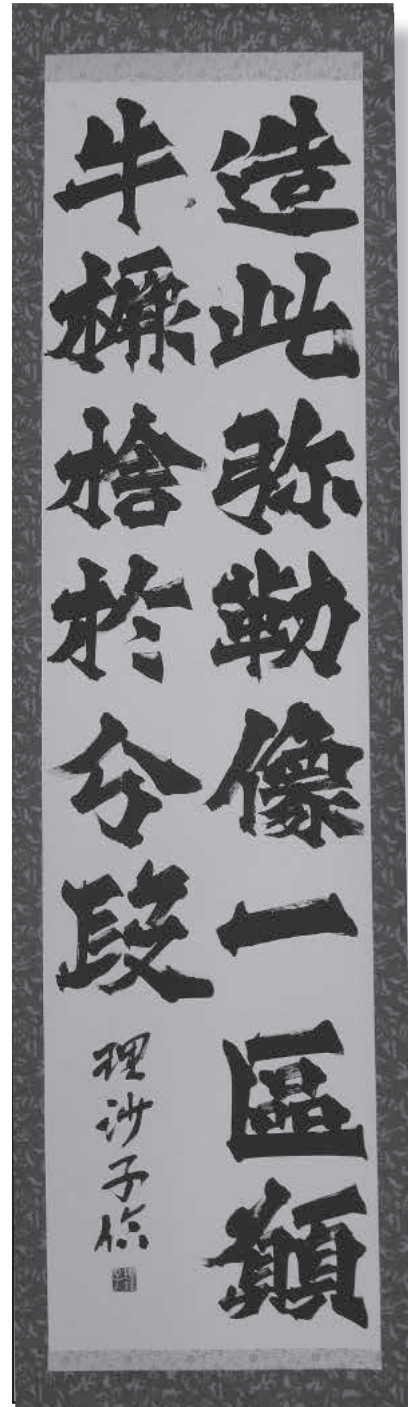
◎ 創作「李白の詩」 法学部3年 牧 千夏

小筆を使い、一つ一つ緻密に書いていくことが好きです。繊細かつ、芯の通った字を書けるよう、練習していきたいです。



◎ 臨 最澄「久隔帖」
法学部2年 金谷 結加

私は行書が好きなので、今回の書展でも行書を書きました。太い線と細い線を出すのに苦労しました。字の大きさに緩急をつけることを反省し、次の作品に生かしたいと思いました。



◎ 臨 「牛橛造像記」
法学部1年 白石 理沙子

造像記は石に彫られた字であるので、線の力強さを出すために、はねやはらい、終筆を特に意識して書きました。